令和元年度　全国学力・学習状況調査の結果について

令和 元 年 １０ 月
おおい町教育委員会

平成３１年４月１８日（木）に、小学６年生と中学３年生を対象にした全国学力・学習状況調査が実施され、本町児童・生徒も参加しました。町全体としての結果の概要と今後の対応等についてお知らせします。

１　調査の概要

（１）調査の趣旨（文部科学省より）

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

（２）調査科目等と内容

①教科

国語、算数・数学、英語（中学３年生）が実施された。

昨年度までの、基礎知識を問うＡ問題と知識の活用力を問うＢ問題が統合され、知識活用力を一体的に問う問題となりました。中学３年生の英語は「読む、聞く、書く、話す」の４技能をみる試験が行われましたが、機器がそろっていない一部の学校で未実施となった「話す」を除く３技能の結果公表となりました。

②生活習慣や学習環境

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査が実施された。

２　調査結果

（１）おおい町の児童・生徒の成績

おおい町の児童・生徒の学力がどの程度かを、国や福井県の平均正答率と比較した時、次の表のようになります。

☆：国や県の平均正答率より５．０ポイント以上上回っている。
◎：国や県の平均正答率より２．５ポイント以上上回っている。
○：国や県の平均正答率の上下２．５ポイント未満である。
△：国や県の平均正答率を２．５ポイント以上下回っている。
×：国や県の平均正答率を５．０ポイント以上下回っている。

対象学年	小学６年生		中学３年生		
教科・分野	国語	算数	国語	数学	英語
全国平均	６３．８	６６．６	７２．８	５９．８	５６．０
おおい町平均	☆	☆	◎	☆	◎
県　平　均	７２	６９	７７	６６	５９
おおい町平均	○	◎	○	○	○

この表でわかるように、おおい町の小学６年生は、国語・算数の２教科とも福井県の児童と比較して同等の力をつけています。中学３年生は、国語・数学・英語の３教科とも福井県の生徒と同等の力をつけています。

（２）各教科別の分析結果

各教科における学力の状況は、次のとおりです。詳細は、各学校の報告をご覧ください。

＜小学校国語＞

○良かった点

・情報を相手にわかりやすく伝えるための記述の仕方（箇条書き）の工夫を捉えることに成果がみられる。

・目的や意図に応じて、文章の内容を的確に押さえて読むことに成果がみられる。

●改善を要するところ

・漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。

・文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くことに課題がある。

＜小学校算数＞

○良かった点

・図形の面積の求め方を数学的な表現を使って説明することに成果がみられる。

・資料の特徴や傾向を関連づけて判断し、その理由を説明することに成果がみられる。

・計算の仕方を解釈し、計算しやすい式にして計算することに成果がみられる。

●改善を要するところ

・計算の順序についての決まりを理解して計算することに課題がある。

＜中学校国語＞

○良かった点

・相手にわかりやすく伝わる表現について理解することに成果がみられる。

・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書くことに成果がみられる。

●改善を要するところ

・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がある。

・話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えを持つことに課題がある。

＜中学校数学＞

○良かった点

・反比例の表から、関係式で表すことに成果がみられる。

・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに成果がみられる。

・問題解決をするためにどのような値が適切か判断することに成果がみられる。

●改善を要するところ

・　確率を求めることについて課題がある。

・　反例の意味を理解することに課題がある。

＜中学校英語＞

○良かった点

・まとまりのある英語や教室英語を聞いて、必要な情報を理解することに成果がみられる。

・与えられた情報に基づいて、会話が成り立つように英文を書くことに成果がみられる。

・無回答率が低い

●改善を要するところ

・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじや大切な部分を理解することに課題がある。

・英文を読み、文の中で適切な語を用いることに課題がある。

（３）生活態度・学習状況

＜小学校＞

○良かった点

・難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している児童が多い。

・学校に行くのは楽しい児童が多い。

・授業で学んだことを他の学習に生かしている児童が多い。

・いじめは、どんな理由であってもいけないという児童が多い。

・人が困っているときは、進んで助けている児童が多い。

・学校のきまりを守っている児童が多い。

○改善がみられたところ

・地域の行事に参加している児童の割合が高くなった。

・自分には良いところがあると思う児童の割合が高くなった。

・新聞を読んでいる児童の割合が高くなった。

●改善を要するところ

・将来の夢や目標を持っている児童が減少した。

＜中学校＞

○良かった点

・学校の規則を守っている生徒が非常に多い。

・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う生徒が非常に多い。

・人の役に立つ人間になりたいと考えている生徒が多い。

・学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある生徒が多い。

・人が困っているときは、進んで助けている生徒が多い。

○改善がみられたところ

・朝食を毎日食べている生徒の割合が高くなった。

・毎日同じくらいの時刻に寝ている生徒の割合が高くなった。

・家の人と学校での出来事について話をする生徒の割合が改善した。

・先生が自分の良いところを認めてくれていると感じている生徒の割合が高くなった。

●改善を要するところ

・読書の時間が少ない
・自分には、よいところがあると思う生徒の割合が低下した。
・家では自分で計画を立てて勉強している生徒の割合が低い。
・新聞を読んでいる生徒の割合が低い。
・将来の夢や目標を持っている生徒の割合が低い。

教育委員会と学校の取り組み

今回の全国学力・学習状況調査で、おおい町の児童・生徒の良かった点、改善すべき課題が明らかになりました。明らかになった課題を改善するため、県教育委員会や嶺南教育事務所の指導を受けながら、学力の向上と、豊かな心を持った児童生徒の育成のため、

・町教育委員会では、施設や備品の充実、ALT や講師、スクールソーシャルワーカー、支援員の配置など、教育環境の整備や学校の支援に努める。
・学校は、課題を改善するための取り組みを行うとともに、研修や研究をとおして指導力の向上や授業改善など、学力向上に取り組む。
・町内の学校が連携し、情報交換しながら指導の充実に努める。

以上のように、児童・生徒の学力の向上に取り組みますので、ご協力をお願いします。

保護者の皆様へのお願い

今回の調査で、おおい町の児童・生徒の良い点や課題が明らかになりました。しかし、国語、算数・数学、英語の限られた教科であることや、紙面の調査であることなどから、把握できたのは学力の一部分ですので、この調査結果だけで学力のすべてや学校評価をされないようにお願いします。

児童生徒がしっかり学習出来るためには、生活が安定していることが大切です。規則正しい生活や時間の使い方、将来の目標など、ご家庭でお子さんと話し合っていただき、適切な指導をお願いします。

全体の様子について述べましたが、各校からも状況が報告されますので、お子さんの通っておられる学校の状況や取り組みにご理解くださいますようお願いします。

なお、各校では、児童・生徒を行き過ぎた競争に巻き込むことや、この調査結果だけでの学校評価やランク付けになることを避け、平均正答率の公表や記号で表すことも行いませんのでご理解ください。